

佳作 光の道しるべ



エリン ラフマワティ

ERLIN RAHMAWATI

国籍 インドネシア

職種 電子機器組立て

実習実施者 旭電器工業株式会社

監理団体 ELC 事業協同組合

私は技能実習生として日本に来ました。日本語が上手になりたいと、日本語検定にチャレンジしていましたが、二度の失敗を繰り返し、合格することを諦めようと考えていました。

そんなある日、会社の上司が日本語検定の試験結果を握りしめて私のところに近づいてきました。私は合格発表だとすぐに分かり、一瞬目を閉じて集中しました。その後、「合格です」という上司の報告を受け、感動のあまり涙があふれ、胸が熱くなりました。それと同時に、一人の女性に感謝の気持ちを心の中で唱えました。この合格は、一人の中国人特定技能生の女性の勇敢な姿を見て達成できたものなのです。

彼女はいつも素敵な笑顔で、日本人や私たちインドネシア人と積極的にコミュニケーションをとり、常に会話の中心にいるような明るい人でした。彼女は日本語の勉強を、仕事が始まる前と仕事が終わってから、毎日欠かさず行うほど熱心で、失敗を恐れず、何度も何度もチャレンジしていました。彼女は私に「失敗は成功の母だよ」と言って励ましてくれました。彼女の姿勢を見たり、言葉を聞いて、私の一度や二度の失敗など何てこと

ないのだと思い知らされました。彼女から勇気をもらい、今の私があるのだと思います。

ある日、突然、彼女は結婚し、東京に引っ越すと報告してきました。悲しい気持ちを無理矢理抑え、「もう彼女の存在は必要ない。これからは自分自身強くなり、成功するため努力を続ける」と自分に言い聞かせました。今は後輩もいます。彼女が私を成長させてくれたように、私も誰かに勇気を与え、尊敬してもらえるような存在になりたいと思います。

彼女の存在は、私にとって大きな支えであり、彼女の笑顔や励ましの言葉が、どれほど私の心を温めてくれたか計り知れません。彼女がいなくなることは寂しいですが、彼女から学んだことを胸に、これからも前向きに頑張っていこうと思います。彼女のように、周りの人々に良い影響を与えられる存在になりたいと強く感じています。

彼女は私の人生にとって、光の道しるべです。「その笑顔は希望の光」「その言葉は勇気の源」彼女の存在が私を強くし、どんな困難も乗り越えられる力を与えてくれました。

彼女が去った今も、その光は私の心に輝き続け、また私の目指している道を照らしています。彼女から学んだ勇気と努力を胸に、私は前へ進み続けていきます。彼女のように周りの人々に光を与え、共に成長し、支え合う存在でありたいです。

いつの日か、成長した姿で東京の彼女に再会できるようなことがあれば、それ以上の喜びはないのかもしれませんが。「人と人が光で繋がる道を作る」そんな光景を想像しながら私は今も一歩、明日も一歩と歩みを進めています。